



CDP2014 優秀企業

TOTO株式会社

一歩進んだグローバル環境ビジョン



TOTO株式会社代表取締役会長 張本邦雄氏

この度CDLI、CPLIの両方を選定頂きました。CDPの取り組みについては2009年から、大きなCSR環境経営の指標として捉えており、ボウリングしながら進化すると思っております。当社は水回り商品を扱っておりますが、実は一番大きな課題は節水です。日本だけが水が大変豊かな国で、昨年までグリーンチャレンジと言う環境宣言行動を行なってまいりましたが、残念ながら国内で節水と言う事がなかなか通用しません。その中でいろいろ研

究を重ねてきましたが、実は節水が大変大きく省エネに貢献出来る事が判りました。水道水は川や地下、湖から取水して浄化しポンプで送り込み、最後使用後は再度ポンプで送り込んで下水道で処理をすると言う、大変なエネルギーを繰り返しています。しかし逆に使用量が減れば減る程、省エネ効果があることがこの2〜3年の成果で分かっています。昨年20年ぶりに滋賀に衛生陶器の新工場を建設致しました。生産のプロセスの中でも大きな省エネを実行し

ておりますが、新工場は従来型の工場から比べると43%の削減で、昨年度省エネ大賞を受賞致しました。これを皮切りに国内外の衛生陶器の生産拠点に最新の仕組みを導入して、これからリニューアルをしていく計画です。又併せて今年からTOTOグローバル環境ビジョンと言う形で、一歩進んだ環境活動もスタートしました。地球上にある水量は10億キロ立米と言う膨大な量ですが、その内97.5%が海水で、残り2.5%

が淡水です。

そしてその多くが、南極、北極そして地下に眠っています。所謂、湖や川など、浄水として、また水として比較的使用しやすい地球上の水は0.01%しかありません。当社は創業以来衛生的な生活を、そして特に戦後は節水を掲げて参りました。日本以外ではグローバルであらゆる地域で節水規制がありますが、残念ながら日本ではなかなか節水を取り上げてもらえる事は少ない状況です。しかしながら、私共の事業そのものが地球環境に貢献出来る、非常に恵まれた産業ではないかと思えます。国内で磨いた節水技術を海外で生産し、その地域の環境にダイレクトに貢献出来る、全社を挙げて推進して行こうとしております。

創業者から二代目に送った先人の言葉に『つかむべきは良品の供給と需要家の満足、利益は後からついて来る影である。利益と言う影を追う人が世の中には多いが、一生実態を捉えずして終わります』とあります。創業時からの戒めの言葉として心に刻み、更にグローバルに環境貢献出来る会社でありたいと思っております。